

認知症高齢者の徘徊搜索・声かけ訓練を町内会で実践！

# 認知症になっても安心して 暮らせる地域づくり

報告者 石井西地区社会福祉協議会  
生活支援コーディネーター

# 石井西地区について

令和4年10月現在

面積：4.54km<sup>2</sup>

人口：29,022人（高齢化率25.4%）

世帯数：14,444世帯



はなみずき通り

# 石井西地区の認知症啓発への取り組み

金田由美子先生・認知症の人の気持ちと接し方



福祉講座

9月24日  
石井支所

福祉講座

9月21日  
石井支所

福祉講座

11月21日  
石井支所



認サポ

2月28日  
古川

認サポ

6月17日  
古川

認サポ

7月1日  
古川

同時開催

認サポ

6月30日  
古川

同時開催

認サポ

7月23日  
一の宮

認サポ

8月12日  
朝生田

福祉講座

3.23  
協力会員

若年性認知症

認サポ

6月6日  
古川

ステップアップ

認サポ

7月4日・和泉南  
8月17日・一の宮

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

模擬訓練

7月1日  
古川

声かけ  
訓練

7月1日

声かけ  
訓練

6月30日

椿小  
キッズ

10月24日  
声かけ体験

椿小  
キッズ

10月15日  
声かけ体験

模擬訓練

12月5日  
一の宮団地

模擬訓練

11月27日  
古川

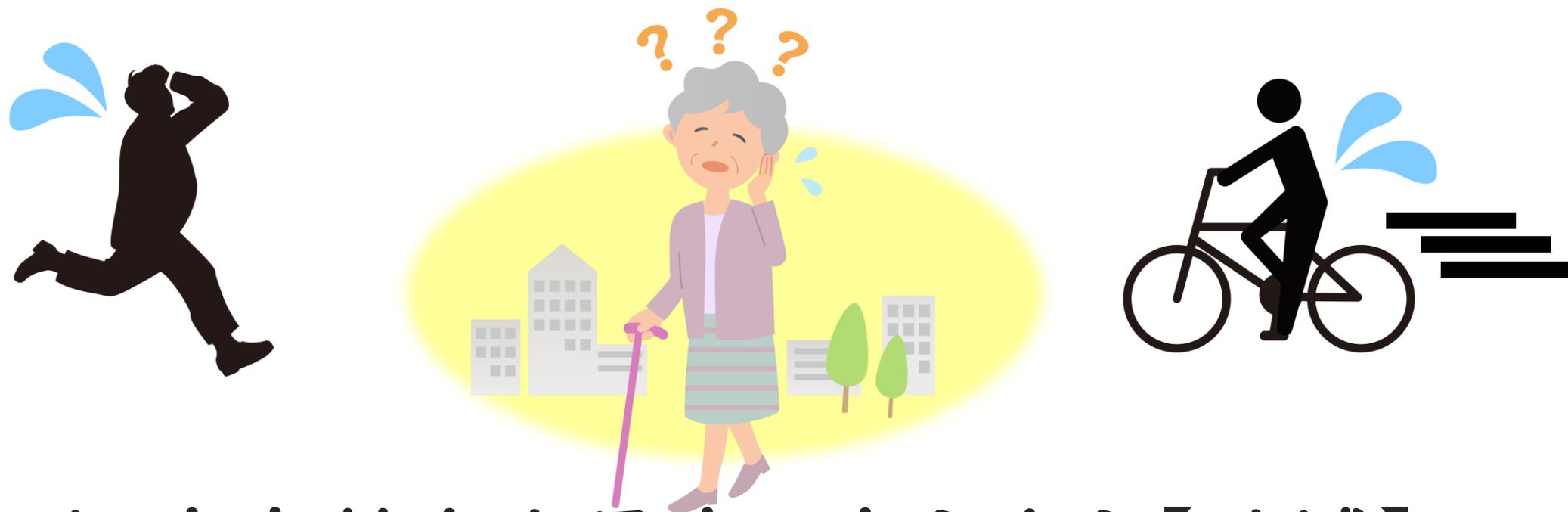
椿小  
キッズ

11月4日

椿小  
キッズ

11月11日

民生委員や町内会長が【個】で奔走していた過去



認知症高齢者を見守り支え合う【地域】へ  
『みんなて 声かけようや!』

# 認知症徘徊高齢者声かけ訓練「声かけようや」開催

- 日 時 令和4年11月27日（日曜）午前9時30分～
- 場 所 古川集会所及び古川南1～3丁目の一部
- 主 催 古川町内会・石井西地区社協・包括支援センター石井・浮穴・久谷
- 協 力 松山南警察署・松山市南消防署・松山南交通安全協会椿支部など
- 参加人数 110名 うち声かけ訓練の参加者 89名

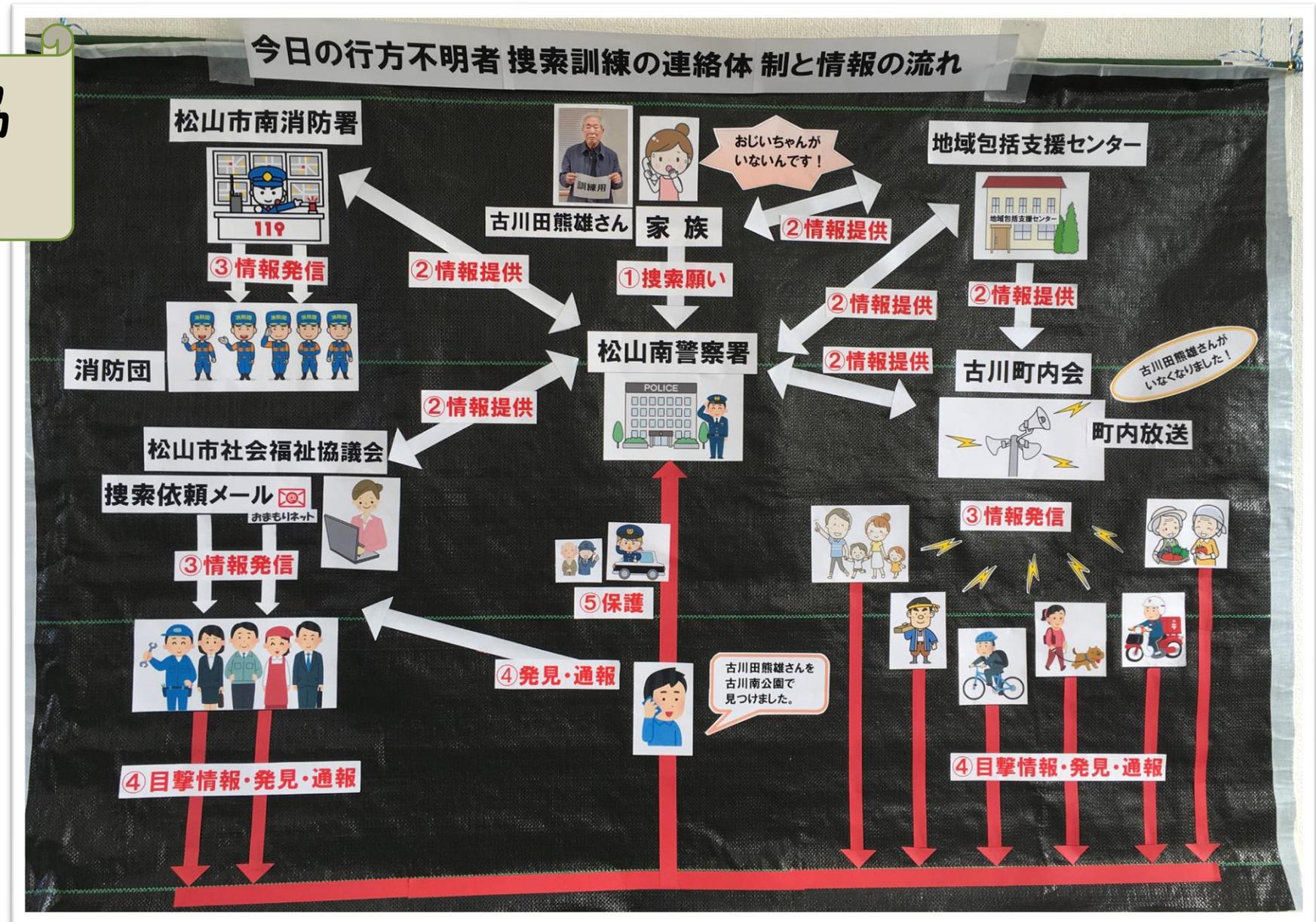
## 訓練内容

- (1) **認知症高齢者の気持ちに配慮した声かけを体験**
- (2) **町内で行方不明者が発生した場合に、**  
**搜索依頼から発見・通報・保護までの流れを検証**
- (3) GPS発信機を使った搜索シミュレーション実演
- (4) 意見交換会の実施



# 石井西地区社協 お手製！

関係各所へ問い合わせ、  
徘徊搜索の連絡体制と  
情報の流れを整理！  
地域住民と共有を  
図りました。



## ■ 訓練方法

- (1) 認知症の高齢者男性が行方不明になったと想定し、9名の徘徊者役が徘徊ルートを設定。
- (2) 町内放送や松山市社協が配信する訓練用搜索依頼メール（おまもりネット）の情報をもとに、搜索対象者「古川田 熊雄さん」を探し声をかける。

【搜索対象者】  
古川田 熊雄さん（仮称）



徘徊者役のみなさん



おじいちゃん  
どこいったの!?

警察と社協に  
連絡しないと!

特徴は...



# 認知症の人への対応の心得を訓練参加者へ説明!

基本は、3つの「**ない**」

1. 驚かせ**ない**



2. 急がせ**ない**



3. 自尊心を傷つけ**ない**



そして、7つの「ポイント」

- ① まずは見守る
- ② 余裕をもって対応する
- ③ 声をかけるときは1人で
- ④ 後ろから声をかけない
- ⑤ やさしい口調で
- ⑥ おだやかに、はっきりした話し方で
- ⑦ 相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応する

## ■ 訓練方法

(3) 徘徊者役は、声をかけてくれた参加者に、発見した場合の連絡先を記載した「声をかけてくれて、ありがとうカード」を渡す。

こんにちは。  
今日は寒いですね。  
なにかお困りですか？



家に帰りたいのに、  
道に迷ってしもてなあ。

古川田 熊雄さんを発見！声かけに挑戦します

認サポを受講した  
民生委員さんが  
声のかけ方を  
アドバイスします。



## 声をかけてくれて、ありがとうカードを受け取る



高齢者等見守り模擬訓練「声かけようや」

R4. 11. 27

声をかけて

ありがとう

訓練

本日は訓練です。電話番号（090-██-██）まで  
「①番 のグレーのニット帽をかぶった男性を見つけました。」  
と、ご連絡ください。（10:30まで）

主催：古川町内会 共催：石井西社会福祉協議会  
地域包括支援センター 石井・浮穴・久谷

- ①訓練の効果を検証  
➡どれくらい声をかけてくれたかな？
- ②発見したら警察等、誰かへ連絡する  
(つなぐ)意識を持って欲しい



# 警察に保護されるまでの流れを訓練で確認

訓練の参加者

持ち物に名前が書いて  
ありますね。熊雄さん、  
もう大丈夫ですよ！

警察へ連絡する流れが  
確認できて良かった。



松山南警察署の協力による保護を想定したデモンストレーション

# GPS発信機を使った搜索シミュレーション実演



松山市徘徊高齢者家族支援サービス事業について

# 石井西の…ここもすごい!

## 小学生を対象とした認知症理解の取り組み

椿小学校の4年生児童を対象とした、「認知症キッズサポーター養成講座」を開催



椿小学校の先生と町内の方による演劇を撮影し、コロナ禍でもオンラインで開催しました。

学んだことを  
声かけ訓練で実践!



# 訓練に参加したみなさんの感想

- 顔を見て優しくゆっくりと声をかけることができました。
- 学校で認知症について勉強したので、やさしく声をかけることができました。
- 子どもに体験させたくて親子で参加しました。いい経験になったと思います。



- 徘徊者の人から情報を引き出す会話は、なかなか難しい・・・
- こうした訓練を今後も続けてはどうか。



# 訓練を支えたひとたちの感想

- 優しく声をかけてくれたので、大変嬉しかった。
- 大勢に囲まれたときは認知症でなくても恐かった。ひとりで正面から声をかけることが大切だという意味がよくわかりました。



徘徊者役のみなさん



みんなで気にかけて、ともに支え合おう！



※撮影時のみマスクを外していただきました。